



学校だより

令和6年1月9日
横浜市立茅ヶ崎東小学校
校長 宮本 仁志
都筑区茅ヶ崎東2-11-1
TEL 943-0802・0803

学校教育目標『笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来を創る東っ子』

初 夢

校長 宮本 仁志

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

令和5年4月に着任以来、もうすぐ1年が過ぎようとしています。茅ヶ崎東小学校の保護者や地域の皆様にはいつも大変お世話になっています。ありがとうございます。昨年5月以来、茅ヶ崎東小学校のホームページの学校日記のコーナーで、校内の様子を写真と一緒に紹介させていただくようにしてから、毎日のようにアクセス数が増えているのを見ると、保護者や地域の皆様が茅ヶ崎東小学校に関心をお寄せいただいていることをひしひしと感じています。本当にありがとうございます。

さて、新しい年の1月を迎えました。皆様の今年の「初夢」はどのようなものだったでしょうか。「初夢」とは、諸説ありますが、最近では元日から2日かけてみるものをさすようです。新年になって初めてみるものということだと思います。昔から初夢は、その内容によって1年を占うと言われていました。その中でも良い夢という江戸時代から「一富士、二鷹、三茄子」と言われています。もっとも、これも江戸幕府を開いた徳川家康の縁の地である駿河国（今の静岡県）の名産をあげたという説や家康自身の好物という説もあるようです。そして、だれもが良い夢をみられるようにと七福神が乗った宝船の絵を枕の下に入れて寝るといふ風習は、江戸時代から始まったようです。

新しい年が来ると「今年こそは」と頭の中で夢を描きます。それは、希望や目標などになるのだと思います。初詣に行き、願い事としてお参りする人もいるのではないのでしょうか。そういうことをするのも、良いことだと思います。ゆったりとした気持ちで新年を迎え、今年の目標を考え、まとめておくことはとても大切なことです。子どもたちも、それぞれ目標を立てたことでしょうか。「将来はプロのサッカー選手になりたい」と考え、そのために今年は体力づくりに力を入れようと思い、家の人と毎朝ジョギングを始めたり、「医者になって、病気の人を助けたい」と考え、今まで以上に勉強を頑張ろうと人体関係の本を読み始めたりするなど、さっそく行動に移した人もいないのでしょうか。夢や目標は、ただ描いただけでなく、やれるところから実際に行動を始めることが大切だと思います。自分の夢や希望、目標などを決め、それを思い描き、そのために今は何をやるのか考え、はっきりさせて実行するということが大切になってくると思います。

今、世界中で多くの日本人が活躍しています。昨年は、アメリカの大リーグで大谷選手が大活躍をしてMVPを獲得したという嬉しいニュースもありました。そのような人々は、子どものときからの夢を追いかけて実現させてきたようです。子どものときに大きな夢を持ち、その夢に向かって一步一步努力を重ねてきたからこそ姿だと思います。そのなかでも途中であきらめて、努力することをやめてしまったということがあったかもしれません。それでも、もう一度考えて夢に向かって前進していったという話も聞きます。今年また初夢を、また希望や目標をじっくりと考え、実現に向けた第一歩を踏みだせる令和6（2024）年であってほしいと願っています。ご家庭でも、将来の夢や希望についての会話をされていることもあると思います。自分で目的意識を高く持った子どもほど、意欲的で確かな成長をしていくと言います。子どもたちの成長は、そのような日々の努力の積み重ねによって成し遂げられるのではないかと思います。いつも同じ話になってしまいがちですが、子どもたちへの教育は、学校だけでなく、家庭や地域の方々とお互いが協力し合って進めていくものだと思います。本校の学校教育目標である「笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来を創る東っ子」を皆様とともに育んでいきたいと思っております。今年もご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。